

ブラジル人学校等の実態調査研究結果について

1. 調査の概要

- (1) 目 的：昨今の景気後退を踏まえ、ブラジル人学校等に通学しているブラジル人等の子どもの就学状況について把握する。
- (2) 調査対象：学齢期の子どもが一人でも在籍する全国のブラジル人学校等
- (3) 調査内容：平成20年12月1日現在と平成21年2月2日現在のブラジル人学校等の推移（両方に回答した学校を対象）
- (4) 調査方法：ブラジル人学校等に対するアンケート調査（委託調査研究）
- (5) 調査時期：平成21年1月下旬～2月下旬
- (6) そ の 他：就学前教育段階：5歳まで
基礎教育段階：6歳から14歳（9年制）
中等教育段階：15歳から17歳（3年制）

2. 調査結果

- (1) 学齢期の子どもが一人でも在籍するブラジル人・ペルー人学校数

	H20.12/1	H21.2/2
ブラジル人学校数	90校	86校
ペルー人学校数	3校	3校
計	93校	89校

- (2) ブラジル人・ペルー人学校の子どもの数

①ブラジル人学校の子どもの数

日本の小学校から高等学校相当のブラジル人学校に通っているブラジル人の子どもの数は平成20年12月1日から平成21年2月2日の間に34.9%減少

	H20.12/1	H21.2/2	増減数（率）
調査対象校数	90校	86校	
回答校数	67校	67校	
有効回答数	58校	58校	
就学前教育段階	1,330人	600人	-730人（▲54.9%）
基礎教育段階	4,406人	2,778人	-1,628人（▲36.9%）
中等教育段階	637人	503人	-134人（▲21.0%）
計	6,373人	3,881人	-2,492人（▲39.1%）

} ▲34.9%

②ペルー人学校の子どもの数

日本の小学校から高等学校相当のペルー人学校に通っているペルー人の子どもの数は平成20年12月1日から平成21年2月2日の間に20.5%減少

	H20. 12/1	H21. 2/2	増減数 (率)
調査対象校数	3校	3校	
回答校数	3校	3校	
有効回答数	3校	3校	
就学前教育段階	40人	12人	-28人 (▲70.0%)
基礎教育段階	112人	94人	-18人 (▲16.1%)
中等教育段階	20人	11人	-9人 (▲45.0%)
計	172人	117人	-55人 (▲32.0%)

} ▲20.5%

(3) ブラジル人・ペルー人の子どもの移動状況

①ブラジル人の子どもの移動理由等

ブラジル人学校に通っていたブラジル人の子どもの平成20年12月1日から平成21年2月2日の間に学校に来なくなった理由のうち、「本国に帰国」が一番多く、次に「自宅・不就学等」が多い。

理 由	数 (率)	
本国に帰国	722人 (42.0%)	
公立学校へ転入	160人 (9.3%)	
他のブラジル人学校等へ転校	53人 (3.1%)	(推計値・注)
自宅・不就学等	598人 (34.8%)	10.2% (就学前教育 (自宅)) 24.6% (基礎・中等教育 (自宅・不就学等))
不明	185人 (10.8%)	
計	1,718人 (100.0%)	

※平成20年12月1日現在と平成21年2月2日現在の両方の在籍者数を回答した58校中42校の回答

②ペルー人の子どもの移動理由等

ペルー人学校に通っていたペルー人の子どもの平成20年12月1日から平成21年2月2日の間に学校に来なくなった理由のうち、「本国に帰国」と「自宅・不就学等」が一番多い。

理 由	数 (率)	
本国に帰国	25人 (45.5%)	
公立学校へ転入	5人 (9.0%)	
他のペルー人学校等へ転校	0人 (0.0%)	(推計値・注)
自宅・不就学等	25人 (45.5%)	23.2% (就学前教育 (自宅)) 22.3% (基礎・中等教育 (自宅・不就学等))
不明	0人 (0.0%)	
計	55人 (100.0%)	

※平成20年12月1日現在と平成21年2月2日現在の両方の在籍者数を回答した3校中3校の回答

(注) 推計値はブラジル人・ペルー人学校の各教育段階の子どもの増減数の割合により算出